

令和三年度使用中学校

教科用図書採択に関する教科用図書選定会議

専門調査研究会（音楽・一般）

報告書

令和2年 7月 8日

北九州市教育委員会


教育長 田島 裕美 様

専門調査研究部会 種目 (音楽・一般)

部長 諸 藤 貴 子 

令和3年度使用中学校教科用図書の調査研究について (報告)


このことについて、当専門調査研究部会は、慎重に審議を重ね、別紙のとおり調査研究結果をまとめましたので報告します。

副部長 山 口 芳 之 

委 員 池 永 京 子 

委 員 湯 浅 香 織 

委 員 牙 馬 和 徳 

委 員 井 上 紫 穂 里 

委 員 印

委 員 印

委 員 印

委 員 印

発行者名		教育出版
観点		
1 各 教 科 共 通 の 選 定 の 観 点	(1) 内容の範囲及び程度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学習指導要領に示す教科及び学年の目標並びに学年の内容に示す事項を不足なく取り上げている。</li> <li>・ 全般を通して、専門的な記載が多く、本市の生徒の実態に沿っていない。</li> <li>・ 新1年生導入期において、興味関心を高めるには適していない。</li> </ul>
	(2) 内容に関する配慮事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 日本とアジアの声による様々な表現では、声に視点をあてた表記がなされており、指導しやすい。</li> <li>・ 音楽的特徴をとらえやすい楽曲が掲載されている。</li> <li>・ 「君が代」のページでは、さざれ石の写真が掲載されており、生徒が歌詞の内容をイメージしやすい。</li> <li>・ 知的理解が重視されており、生徒の心情面に寄り添っていない。</li> <li>・ 資料も多く、様々な知識を得ることができるが、生徒の思考の過程に沿っていない。また、指導するときの焦点化が難しい。</li> <li>・ 創作の活動は、知識が豊富な生徒は楽しく学習できるが、本市の実態を考えるとやや難しい。</li> </ul>
	(3) 分量	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 適切である。</li> </ul>
	(4) 使用上の便宜	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 気が付いたことや感じ取ったことを書き込める欄が多くある。</li> <li>・ 各学年表紙裏にある(口絵①)唱歌のページは、美しい写真とともに丁寧な解説が加わり、近代日本の心を大切に扱っていることが伺われる。</li> <li>・ 巻末の折り込みページは、机のサイズに合わず、破損しやすいことが考えられる。</li> <li>・ 鑑賞領域に器楽の内容が入ることがあり、整理されていない。</li> <li>・ 目次部分にQRコードがありウェブサイトにて資料の提示が行われているが、題材の中に掲載されると活用しやすい。</li> <li>・ 「比べてみよう」で比較対象となる楽曲が見開きにないため、資料を見比べる際に手間取る。</li> <li>・ 「学びのユニット」の「学びの手がかりとなるヒント」は、学習指導要領通りの文言ではないので分かりにくい。</li> <li>・ 教材を使用しているときに「音楽を形づくっている要素」を意識しにくい。「学びの手がかりとなるヒント」が掲載されている(pp.4~5)が、そこに戻らないと学習のポイントが分からない。</li> <li>・ 鑑賞教材の解説が詳しすぎて、教える際の取舍選択に迷うので、経験の浅い教員が、教科書通りに指導する場合には、難しい。</li> </ul>
	(5) 印刷・製本等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 印刷は鮮明である。</li> </ul>
2 選 定 の 観 点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 改良されているところが多く、9か年を見通した積み重ねの授業ができていない地域での使用は大変有効であると考えられる。</li> <li>・ 専門的な資料が多いが、本市の生徒の実態を考えるとそぐわない。</li> <li>・ 民謡に掲載している地図は、県境がないので、我が国や郷土の音楽に愛着をもたせ、社会科と関連させて指導する場合、活用が難しい。(1年 pp.30~31)</li> </ul>	

観 点		発行者名	教育芸術社
1 各 教 科 共 通 の 選 定 の 観 点	(1) 内容の範囲及び程度		<ul style="list-style-type: none"> <li>学習指導要領に示す教科及び学年の目標並びに学年の内容に示す事項を不足なく取り上げている。</li> </ul>
	(2) 内容に関する配慮事項		<ul style="list-style-type: none"> <li>音楽的特徴のとらえやすい楽曲が選曲されている。</li> <li>指導すべき事項の焦点が絞られており、使いやすい。</li> <li>目次のあとの学習内容を示す系統図は、生徒にとって学習内容を理解しやすい。また、指導者にとっても学習内容や指導事項の関連を把握しやすい。</li> <li>世界の諸民族の音楽の紹介では、我が国の伝統音楽や伝統楽器などと比較することで、より理解を深めることができる。</li> <li>他教科との関連を意識した掲載がある。</li> <li>(学校) リズムゲーム、リズムアンサンブル等掲載されていることから、生徒がリズムについて興味関心を高めることができる。</li> </ul>
	(3) 分量		<ul style="list-style-type: none"> <li>学習指導要領の内容及び内容の取扱いに示す事項が、授業時数に照らして配分されている。また、分量は適切である。</li> </ul>
	(4) 使用上の便宜		<ul style="list-style-type: none"> <li>1年の教材で「越天楽」が掲載されている。小学校6年生で学習する「越天楽今様」を導入として雅楽の学習に入ることができる。</li> <li>QRコードの掲載数は少ないが、タブレット等を利用した発展学習ができる内容になっている。</li> <li>音楽を形づくっている要素がどの題材にもまとめられており使いやすい。</li> <li>「アジアの諸民族の音楽」は、各国の音楽の特徴を想起しやすい内容である。また、地図とともに演奏している写真やその説明が詳細に示されており、分かりやすい。</li> <li>デジタル教科書については、指導者用は、音源や範奏・範唱などの資料が豊富であり、経験年数の少ない教員に使いやすい。</li> <li>(市民) 魅力的な曲が多い。</li> <li>生徒の考えを書き込むスペースが少ない。</li> </ul>
	(5) 印刷・製本等		<ul style="list-style-type: none"> <li>表紙の絵は、生徒には受け入れられやすいと思われる。</li> <li>印刷は鮮明であり、文字の大きさ、字体、行間、楽譜は見やすいものとなっている。</li> <li>製本は適切である。</li> </ul>
2 選 定 の 観 点			<ul style="list-style-type: none"> <li>1年教科書の裏表紙に、「私たちが受け継ぐ 郷土の祭りや芸能」小倉祇園太鼓、福岡県北九州市として、詳細に掲載されている。</li> <li>鑑賞の活動において、我が国や郷土の伝統音楽を含む我が国及び諸外国の様々な音楽のうち、指導のねらいに照らして適切な教材を選択することができる内容になっている。</li> <li>「心の歌」、「歌い継ごう日本の歌」、我が国や郷土の伝統音楽では、生徒が親しみのもてる教材を取り上げたり、実際に唄ったり語ったりする活動を通して、愛着を育む内容となっている。</li> <li>資料も適切で使いやすい。本市の実態に沿っている。</li> </ul>

令和三年度使用中学校

教科用図書採択に関する教科用図書選定会議

専門調査研究会（音楽・器楽）

報告書

令和2年 7月 8日

北九州市教育委員会


教育長 田島 裕美 様


専門調査研究部会 種目 (音楽・器楽)

部長 諸藤 貴子 

令和3年度使用中学校教科用図書の調査研究について (報告)


このことについて、当専門調査研究部会は、慎重に審議を重ね、別紙のとおり調査研究結果をまとめましたので報告します。

副部長 山口 茅之 

委員 池 永 京子 

委員 湯 浅 香 織 

委員 手 嶋 和 徳 

委員 井上 紫穂里 

委員 印

委員 印

委員 印

委員 印

観 点		発行者名	教 育 出 版
1 各 教 科 共 通 の 選 定 の 観 点	(1) 内容の範囲及び程度		<ul style="list-style-type: none"> <li>音楽科の目標及び内容を指導する上で問題はない。</li> <li>容易に取り組める曲から難易度が高い曲まで、思いや意図をもって表現できるようになっている。</li> </ul>
	(2) 内容に関する配慮事項		<ul style="list-style-type: none"> <li>楽器ごとに特徴・奏法・楽曲などがまとめられている。そのため、系統的に学習することが可能である。</li> <li>「何が同じで、何が違う」では、同じ種属の3つの楽器について共通性と固有性を考えたり話し合ったりすることができる。</li> <li>奏法は記載してあるが、生徒が自らの力で課題を解決するための資料が不足している。</li> <li>(p.4) ソプラノリコーダーとアルトリコーダーを「運指の共通の音」として掲載するのは、楽譜に抵抗感のある生徒や音感が育っていない生徒にとっては混乱することが懸念される。</li> <li>インデックスタイプの運指の表記に統一感がなく、分かりにくい。</li> <li>(学校) 楽曲の選曲や並びから考えると、技能の習得という感が否めない。</li> </ul>
	(3) 分量		<ul style="list-style-type: none"> <li>全体の分量は、授業時数から見て適切である。</li> <li>オリジナルの練習曲が多く、音楽経験の少ない生徒にとっては、自分が正しく演奏できているかどうか自己判断しにくい。</li> </ul>
	(4) 使用上の便宜		<ul style="list-style-type: none"> <li>ソプラノリコーダーの掲載が充実されたことにより、リコーダーの活用の幅が広がる。</li> <li>楽器の演奏には、活躍中の演奏家が採用されており、興味を高める工夫がされている。それぞれの奏者からのメッセージも記されており、心情面にも迫る内容となっている。</li> <li>目次ページにあるQRコードに模範演奏や動画が豊富に収録されているが、個人で繰り返し学ぶためには、関連ページにQRコードがあると、より使いやすい。</li> <li>巻末の口絵③④のギター&amp;キーボードコード表のギターのポジションが写真で掲載されているが、どの弦のどのフレットを抑えているのか見づらい。押さえ方を図で示した方が分かりやすい。</li> </ul>
	(5) 印刷・製本等		<ul style="list-style-type: none"> <li>印刷は鮮明である。</li> <li>情報量が多いページと少ないページの差が大きい。</li> <li>裏表紙に「色覚の個人差を問わず」と明記しているが、黄なりの紙に印字されているため、見づらい生徒もいることが考えられる。</li> </ul>
2 選 定 の 観 点			<ul style="list-style-type: none"> <li>「太鼓」では祭りでの太鼓演奏の例として小倉祇園太鼓が掲載されており、地域への愛着心を育てることができる。</li> <li>我が国や郷土の伝統音楽で使われる楽器については、演奏者からのメッセージを通して、その楽器の魅力に迫ることができる。</li> <li>音楽を苦手とする生徒にとっては、知識・技能を身に付けさせる内容が多く、生徒の思考に即していない。</li> <li>楽器によって、取り扱いページに偏りがある。</li> </ul>

発行者名		教育芸術社
観点		
1 各教科 共通 の選 定 の 観 点	(1) 内容の範囲及び程度	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習指導要領に示された教科の目標達成に結びつく内容になっている。</li> <li>生徒の興味・関心を高め、多様な音楽体験ができるよう学習内容と教材が精選され配列されている。</li> <li>各楽器の演奏では、初歩的な内容から発展へと示されているところがよい。</li> <li>楽曲が豊富なので、生徒の発達段階や実情に合わせて選択することができる。</li> <li>目次のあとの学習内容を示す系統図は、生徒にとって学習内容を理解しやすい。また、指導者にとっても学習内容や指導事項の関連を把握しやすい。</li> </ul>
	(2) 内容に関する配慮事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習内容を整理した部分(pp. 8~9)では、内容を系統立てて整理している。また、それぞれの内容に、音楽を形づくっている要素を重点ポイントとして挙げていることから、系統的な指導ができる。</li> <li>アルトリコーダーとソプラノリコーダーの共通運指で音の高さの紹介がある。また、1音のみの分かりやすい表記(p. 19)は混乱することなく、楽器の面白さに気づききっかけにもなる。</li> <li>新出のアルトリコーダーの運指がインデックスのようにまとめて掲載されているため(p. 29)練習するときに確認するのが容易である。</li> <li>(学校)和楽器の曲には、Jポップやアニメ等、生徒が親しみやすい曲が多く、取り組みやすい。</li> <li>生徒が思いや意図を整理するための記述欄は、創作分野に限られている。</li> </ul>
	(3) 分量	<ul style="list-style-type: none"> <li>分量は適切である。</li> </ul>
	(4) 使用上の便宜	<ul style="list-style-type: none"> <li>西洋楽器(リコーダー、ギター)、邦楽器(箏、三味線等)とまとめているので使いやすい。</li> <li>ソプラノリコーダーの掲載が充実されたことにより、リコーダーの活用幅が広がる。</li> <li>楽器の演奏には、活躍中の演奏家が採用されており、興味を高める工夫がされている。またそれぞれの奏者からのメッセージも語りかけるように記されており、心情面にも迫る内容となっている。</li> <li>楽器の図鑑は、鑑賞の授業で使いやすい。</li> <li>(学校)邦楽と洋楽の掲載曲のバランスがよく、楽曲の選択の幅が広がる。</li> <li>(市民)魅力的な曲が多い。</li> </ul>
	(5) 印刷・製本等	<ul style="list-style-type: none"> <li>印刷は鮮明であり、文字の大きさ、字体、行間及び製本の様式、材料などが適切である。</li> </ul>
2 選 定 の 観 点	<ul style="list-style-type: none"> <li>演奏会や郷土の祭りの様子などの写真と合わせて提示することで、それぞれの楽器の演奏と生活や社会の関連を想起できるようになっている。</li> <li>各楽曲に、音楽を形づくっている要素をポイントとして挙げることで、音楽的な見方・考え方を働かせながら学習に取り組むことができるようになっている。</li> <li>音楽を通して音楽文化と豊かに関わることができるよう、幅広い学習の工夫も見据え、適切な教材を用意している。</li> <li>技能の習得においては、段階的に、図や解説で丁寧に示されている。</li> <li>学習指導要領に即して、和楽器の記述も充実している。</li> <li>我が国や郷土の伝統音楽で使われる楽器については、演奏者からのメッセージを通して、音や音楽に思いをこめて演奏することの大切さが伝えられている。</li> </ul>	



令和三年度使用中学校

教科用図書採択に関する教科用図書選定会議

専門調査研究会（美術）

報告書

令和2年 7月 6日

北九州市教育委員会


教育長 田島 裕美 様


専門調査研究部会 種目 ( 美 術 )


部 長 林 光孝 

令和3年度使用中学校教科用図書の調査研究について (報告)

このことについて、当専門調査研究部会は、慎重に審議を重ね、別紙のとおり調査研究結果を  
まとめましたので報告します。

副 部 長 砂田 剛志 

委 員 鋪田 直子 

委 員 川上 将一 

委 員 鶴田 美紗 

委 員 春野 修二 

委 員 印

委 員 印

委 員 印

委 員 印

発行者名		開隆堂出版
観点		
1 各 教 科 共 通 の 選 定 の 観 点	(1) 内容の範囲及び程度	<ul style="list-style-type: none"> <li>全ての題材で、「学習のポイント」が示されているため、生徒が学習のねらいを捉えやすく、教科の目標が達成しやすい。</li> <li>学習指導要領に基づいた領域を不足なく取り上げ、絵画・彫刻、デザイン・工芸の題材がバランスよく構成されている。</li> </ul>
	(2) 内容に関する配慮事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>「学びの地図」や各領域の解説を設けることにより、表現と鑑賞を相互に関連させることの重要性を示し、学習の見通しと意義を意識させる内容になっている。</li> <li>協働や協力をして活動する題材を多く取り上げ、生徒同士のコミュニケーションや言語活動が深められるように発問が工夫されている。</li> <li>他教科との関連がページ下部に多く示されており、教科横断的な視点による教育内容を組み立てが可能となりやすい。カリキュラム・マネジメントを充実させながら、学校が目指す資質・能力の育成や取組を全教職員が共有することに繋げやすい。</li> <li>(学校) 色相環に色の名前が記されておらず、授業で取り扱いにくい。</li> </ul>
	(3) 分量	<ul style="list-style-type: none"> <li>1年67ページ、2・3年123ページ、総頁数190ページと分量は三者のうち最も多く、幅広い題材の中から、生徒の発達段階や学校、地域の実態に応じたカリキュラムを編成しやすい。</li> </ul>
	(4) 使用上の便宜	<ul style="list-style-type: none"> <li>「学びの地図」では美術の領域が丁寧に分類され、生徒と作品との出合わせ方の方法が記載されており、学習内容の概要を理解しやすい。</li> <li>「学習のポイント」や「作者のことば」が示されていることにより、話し合い活動を通じて主体的・対話的で深い学びへと繋げ、発想や構想を広げて主題を生み出すことができるような内容になっている。</li> <li>(学校) QRコードがついているが、リンク先の内容が充実していない。</li> </ul>
	(5) 印刷・製本等	<ul style="list-style-type: none"> <li>A4ワイド版(通常のA4より、約2cm大きく)、製本は堅牢、紙の質は良好で、開いたときに使いやすく、発色が鮮やかである。</li> <li>色相環を少数派色覚者にもわかりやすいものにするなど、カラーユニバーサルデザインに配慮し、紙面の配色が工夫されている。</li> <li>(学校) 単語や文節が途中で改行されないようにし、文章は意味のまとまりごとに読みやすく工夫されている。</li> <li>数多くの写真資料が指導に活用できるが、他社と比べ、やや不鮮明な写真がある。</li> <li>2・3年生の表紙の色みが強すぎる。</li> </ul>
2 選 定 の 観 点	<ul style="list-style-type: none"> <li>表現及び鑑賞の幅広い活動において、「学習のポイント」や「目標」を通じて造形的な見方・考え方を働かせながら造形的な視点について理解し、生活や社会の中の美術や美術文化に豊かに関わる内容になっている。</li> <li>発想や構想に関わる作品や作者等に関わることば、また、鑑賞作品に解説や作者の情報、時代背景などの説明が丁寧にされている。</li> <li>3者の中で、3年間を通じて、鑑賞に親しむことができるように創意工夫された題材数が最も多い。表現活動と関連付けながら、「美術用語」や「学びの資料」などにより、生徒が多様な視点から効率よく造形を豊かにとらえ実感することができる。</li> <li>(学校) 注意が必要な箇所には「！」のマークが細やかに配慮され、安全指導が徹底できている。</li> <li>見方を限定している作品の解説が、生徒の鑑賞活動における妨げになる可能性がある。</li> <li>各ページにおいて表現と鑑賞の内容が相互に関連するように示されておらず、紙面の構成上十分とは言い難い。</li> </ul>	

発行者名		光村図書出版
観点		
1 各 教 科 共 通 の 選 定 の 観 点	(1) 内容の範囲及び程度	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習指導要領の領域を不足なく取り上げ、発達の段階に応じて系統的に構成している。</li> <li>各題材の目標を明確にし、発想や構想、技能、鑑賞に関する資質・能力を身に付けられるような内容になっている。</li> </ul>
	(2) 内容に関する配慮事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>「みんなの工夫」の紹介（1学年 p.12 等）による制作過程が分かりやすく、主体的な制作が促されるように配慮されている。</li> <li>図画工作から美術へ、1学年から2・3学年の学習への展開が考慮されており、既習事項を生かしながら発展的な学習ができる。</li> <li>作品を鑑賞し、対話が生まれるような発問が表現の頁にも記載されている。</li> </ul>
	(3) 分量	<ul style="list-style-type: none"> <li>年間授業時数に即して、地域や学校の実情に合わせて指導計画が立てられるよう工夫されている。</li> <li>題材の分量としての不足はないが、2・3学年の題材数が他者と比べ少ない。</li> </ul>
	(4) 使用上の便宜	<ul style="list-style-type: none"> <li>QRコードの脇に内容の文字情報の説明があり、360度動画も21本と関連資料を通しての主体的学習を促しやすい。</li> <li>（学校）トレーシングペーパーを綴じこみ、描きこみができることで、より実感的に理解でき、学びを深めていくことができる。</li> </ul>
	(5) 印刷・製本等	<ul style="list-style-type: none"> <li>白地をうまく活用し、写真のトリミングなどもうまく、すっきりとした見やすいレイアウトになっている。</li> <li>内容よりも紙質に気をとられる恐れがあるが、掲載作品に合わせた異なる材質の紙に印刷している頁があり、作品に対する興味・関心が深まりやすい。</li> <li>印刷加工のバリエーションが豊富であり、教科書に触れたときの手触りの違いを味わうことができる。</li> <li>（学校）構成が工夫されており、写真図版等の小ささを感じさせないが、他の2者と比べ、教科書幅が約2cm小さい。</li> </ul>
2 選 定 の 観 点	<ul style="list-style-type: none"> <li>全ての題材に鑑賞活動を設定し、表現中心の題材でも表現と鑑賞を一体的に学べる構成（1学年 p.10 等）になっているので、生徒が造形的な見方・考え方を働かせ、自分の思いを深め、表現していくことができる。</li> <li>造形的な視点をもとに日常生活におけるデザインなどの働きを見つめ直すことができるように配慮されており、社会の中の美術文化と豊かに関わることができる。</li> <li>造形的な視点について、作品とともに作者の言葉を掲載し、イメージと形や色の関連を示すことで、教科書を使用する生徒が制作したり、鑑賞したりするときのヒントになり、効果的にその資質・能力を育成することができる。と考える。</li> <li>（市民）美術になじみの無い生徒に親しみをもたせる工夫や題材毎の制作の過程について段階を追って興味を広げる工夫がある。</li> <li>生徒と先生のキャラクターに吹き出しをつけ、考えを述べ合う様子を紹介することで、多様な見方や感じ方を促す効果がある。</li> <li>言語活動に特化した（2・3年 p.76・77 ウェビングマップ、曼荼羅チャート、ベン図、ワールドカフェの紹介）頁で、表現意図を言葉に表したり、人に伝えたり、受け入れたりする活動を充実できる。</li> <li>作品の発想を広げ構想を練るための具体的な手立てが示されているため、表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるような内容になっている。</li> <li>「北斎」と「ゴッホ」や「絵巻物」と「漫画の表現」など、比べて学習できるようにしたり、「鑑賞」の学習の中に「問い」を盛り込んだりすることで、主体的・対話的な深い学びが実現できる。</li> </ul>	

発行者名		日本文教出版
観点		
各教科共通の選定の観点	(1) 内容の範囲及び程度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学習指導要領に示された領域を不足なく網羅し、3分冊で構成されている。</li> <li>・ 美術科の目標達成に結びつくように、内容項目について発達段階に応じて作品が選定されている。</li> </ul>
	(2) 内容に関する配慮事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 障がい者などハンデのある人のためのデザインや、ICT、漫画を活用した題材、キャリア教育の視点から俳優やアニメーション作品の紹介などがある。美術を社会や生活と結びつけながら、より身近に感じることができる。</li> <li>・ 題材を系統立てて設定しており、学年毎の節目を大切にしながら、3年間の美術での学びを積み上げることができる。</li> <li>・ 言語活動の場面や制作過程、作者の言葉、アイデアスケッチの紹介、対話が生まれるような発問があることで、思いを伝え合う活動が充実できる。</li> </ul>
	(3) 分量	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 年間授業時数に即して、地域や学校の実情に合わせて題材を選択し、指導計画が立てられるよう、工夫されている。</li> <li>・ 学びを支える巻末資料が充実している。</li> </ul>
	(4) 使用上の便宜	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 見出しの表現と鑑賞が重なり合うような表示になっているので、関連付けて考えていくことの重要性が分かりやすい。</li> <li>・ 写真ではその魅力が伝わりづらい作品について、QRコードのリンク動画でその面白さが伝わるような仕掛けがある。</li> </ul>
	(5) 印刷・製本等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 高精細印刷を用いて色味や細部の再現にこだわっているため、画像が鮮明であり、鑑賞体験への配慮が工夫されている。</li> <li>・ 2・3学年では、教科書は比較的軽く、持ち運びやすい。</li> <li>・ 紙の質が若干厚めであることからやや広げにくい。</li> <li>・ (学校) 図版や文章が多く掲載されているが、雑然とした配置で、余白が小さいため全体的なまとまりに欠けている。</li> </ul>
選定の観点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ (学校) 身の回りのものから、環境・空間・祭りなど、幅広く例示を扱っており、生活や社会に結びつけた題材が多いので、親しみやすく、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わることができる内容になっている。</li> <li>・ 一つの題材に対して、様々な作品展開が紹介されている。生徒の実態に合わせた制作ができる工夫がある。</li> <li>・ 「造形的な視点」(1学年 p.12 等) に示した問いが随所にあるため、生徒が授業のねらいをとらえやすく、造形的な見方・考え方を働かせながら学習活動しやすい。</li> <li>・ それぞれの職業で美術を生かしている人たちを扱うことなどで、学びが将来どのような場面で生かされるのかが伝わりやすく、美術がこれからの人生や生活に大きく関わってくるのが分かりやすい。</li> <li>・ 「作者の言葉」やアーティストの発想方法紹介などにより、作品の主題や工夫したポイントが分かり、発想・構想を深め、生徒が主題を生み出しやすい流れができている。</li> <li>・ 「造形的な視点」により事前に見方を限定することで、既習事項を生かしにくくなり、画一的な見方や表現の仕方につながる可能性がある。</li> <li>・ デザインや工芸の題材においてはより多くの他者を対象とすることで、生徒が社会性や客観性を意識できるようにすることが望ましいが、2・3学年の題材設定には、自己に向けた制作内容がみられる。</li> </ul>	

令和三年度使用中学校

教科用図書採択に関する教科用図書選定会議

専門調査研究会（保健体育）

報告書




令和2年7月6日

北九州市教育委員会


教育長 田島 裕美 様

専門調査研究部会 種目 (保健体育)


部長 園山 浩 


令和3年度使用中学校教科用図書の調査研究について (報告)

このことについて、当専門調査研究部会は、慎重に審議を重ね、別紙のとおり調査研究結果をまとめましたので報告します。

副部長 辻井 幸介 

委員 中谷内 仁 

委員 塩川 久美 

委員 安高 剛 

委員 植村 彰一 

委員 印

委員 印

委員 印

委員 印

発行者名		東京書籍
観 点		
1 各 教 科 共 通 の 選 定 の 観 点	(1) 内容の範囲及び程度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・内容の範囲は適切である。</li> <li>・単元ごとの内容の掘り下げ方のバランスがいい。</li> <li>・ストレスへの対処に関して、多様化するストレスの現状に応じた対処法にもう少し幅を持たせてもよいと感じた。青少年期のストレスは、現在、大人のそれと変わらない部分もあるため、もう少し掘り下げてもよいと感じた。</li> </ul>
	(2) 内容に関する配慮事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本文と資料のバランスが良い。</li> <li>・各章末に資料ページを設けており発展的な学習を行う上で非常に詳しく掲載されている。</li> <li>・ストレスの対処法や応急手当の方法など紙面だけでは足りない部分をコンテンツにつなげるなどの工夫がなされている</li> <li>・他教科との関連が詳しく記されている。</li> <li>・章末資料が充実しており、健康についての課題解決につながる内容が多い。</li> <li>・「見つける」「課題の解決」「広げる」が1時間の授業の流れでわかりやすく配置されている。</li> <li>・デジタルコンテンツというインターネットを使った学習ができ、予習・復習が行いやすい工夫がされている。</li> <li>・「活用する」は、対話的な学習に取り組みやすく、深い学びにつなげやすい配慮がされている。</li> <li>・「広げる」は、学習した内容をもとに自分の生活を振り返り、つなげていく工夫がされている。</li> <li>・マークの種類が多すぎて、わかりづらい面がある。</li> <li>・体育分野・保健分野の取り扱いの順番が学習指導要領とは逆であるためややわかりにくい面がある。</li> <li>・保健分野と体育分野の配列がわかりづらい。</li> <li>・学習の流れを示すラインに沿って、「見つける」「課題の解決」「活用する」「広げる」の4つのステップの配置が分かりにくい。</li> </ul>
	(3) 分量	<ul style="list-style-type: none"> <li>・分量は、適切である。</li> <li>・やや文字の分量が多い。</li> </ul>



	(4) 使用上の便宜	<ul style="list-style-type: none"> <li>・インターネットコンテンツとの連携・活用が、明確になっている。今後、現場では、タブレット端末などの使用が広がりを見せるため、対応が工夫されている。</li> <li>・指示マークなどが、統一されどの單元も、学習を進めやすい工夫がされている。</li> <li>・各章によってタグの色分けがはっきりと行われ、表題の文字も大きく同色であらわされるなど工夫がなされている。</li> <li>・学習のまとめが授業の振り返りとして活用できる。</li> <li>・心肺蘇生法の手順が縦と横に読んでいくために少しわかりにくい。</li> <li>・ページ内に空白の部分が多く感じる。</li> <li>・アンケート結果など、調査年未掲載があり、資料の信憑性が不明瞭である。（例えば P28 資料1 P29 資料2）</li> <li>・比較的新しい資料が多いが、2007年と古いものもある。</li> <li>・保健分野の2年生3章、4章、3年生5章、6章の配列が逆になっているため 系統立てた指導につながりにくい。</li> <li>・データに、地域の偏りがある。</li> <li>・（学校）実習における説明では、写真や図と文字説明が分離している部分が多いため、少し分り辛いと感じた。</li> </ul>
	(5) 印刷・製本等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文字サイズや写真などの配置、見やすさが丁度よい。</li> <li>・色合いが全体的に落ち着いた。</li> <li>・章ごとの色合いが統一され、落ち着いた見やすい。</li> <li>・イラスト、文字の大きさ、字体、行間など、見やすくわかりやすい。</li> <li>・適度に余白を入れ、すっきりとした印象で見やすい。</li> <li>・写真やデータが多くわかりやすい。</li> <li>・「課題の解決」「広げる」等の学習の柱となる文字については、もう少し目立つ色合いのほうが良い。</li> <li>・色合いは落ち着いたがその分インパクトに欠ける。</li> <li>・口絵の写真が、興味を引く内容に見えない。</li> <li>・文字が強調されているが、目立たない語句がある。</li> </ul>
2 選 定 の 観 点		<ul style="list-style-type: none"> <li>・他教科との関連が示されており、横断的な学習が進めやすくなっている。</li> <li>・自他の健康に関する課題を発見し、よりよい解決に向けて取り組む思考力、判断力、表現力等を育成することができる内容になっている。</li> <li>・応急手当の内容が充実している。</li> <li>・「教科書の使い方」「保健体育の学習方法」が説明されており、授業を進めやすくなっている。</li> <li>・章のはじめに小学校・中学校・高校で学習することが明記されており、系統性のある指導ができる内容になっている。</li> <li>・（市民）性の多様性については、P44に記載がある。</li> <li>・（学校）ストレスへの対処について、イラストや言葉でわかりやすく説明している。</li> <li>・男子の生殖機能の発達、女子の生殖機能の発達と大きな文字で見出しとなっており、性の多様性について、触れているがもう少し掘り下げたほうがよい。</li> <li>・オリンピック、パラリンピックの内容についての記述が少ない。</li> <li>・SDGsに関する記述が少ない。</li> </ul>

発行者名		大日本図書
観 点		
1 各 教 科  共 通 の 選 定 の 観 点	(1) 内容の範囲及び程度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・内容の範囲は適切である。</li> <li>・資料の分量が豊富で、特に章末資料は学習内容を広げて知識を深められるように工夫されている。</li> <li>・がん教育については、生活習慣との関りについて、もう少し掘り下げる必要がある。</li> <li>・スポーツの多様なかわり方については、もう少し掘り下げてもいい感じである。</li> <li>・性情報などへの対処では、より具体的な SNS 上のトラブルや危険度を明示した方がよい。</li> </ul>
	(2) 内容に関する配慮事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「つかもう」「やってみよう・話し合ってみよう・調べてみよう」「活用して深めよう」がわかりやすく配置している。</li> <li>・目次や口絵1で3年間の履修内容が系統的に整理されていてわかりやすい。</li> <li>・「トピックス」が生徒の知識をより広め、深める内容になっていて非常に良い。</li> <li>・引用されているデータが新しいものが多い。</li> <li>・それぞれの単元で「主体的・対話的で深い学び」を促すように紙面構成に配慮されている。</li> <li>・各章末のまとめに「重要な言葉」の説明が示されており、学習内容の整理がしやすくなっている。</li> <li>・本文ページと資料ページの明確な区別や読みやすい位置での改行など、特別支援教育やユニバーサルデザインに配慮している。</li> <li>・（学校）他教科との横断的な繋がりがよい。</li> <li>・学習活動の内容については、1単位授業内で収まらない活動・作業量があると感じた。</li> <li>・言語活動の能力の育成を図る活動が、話し合いや対話だけになっている。</li> </ul>
	(3) 分量	<ul style="list-style-type: none"> <li>・分量は、適切である。</li> <li>・災害に関する学習部分は、もう少し取り扱い範囲を深めたり、広げたりが必要と感じる。毎年の、全国の被災状況から、喫緊の課題や避難に対する知識の習得が必要と感じている。</li> <li>・使われている語句や、文章表現が難しい。</li> <li>・資料が充実している分、本文が少ない。</li> </ul>

<p>(4) 使用上の便宜</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本文中の語句説明が、本文の下部にまとめてあるのが、見やすくよい。</li> <li>・各章の「学習のまとめ」として〈重要な言葉〉がまとめられており非常に丁寧にわかりやすい。</li> <li>・トピックスの内容が充実しており、授業を発展させる内容となっている。</li> <li>・応急手当、心肺蘇生法が見開きページになっており、わかりやすい。</li> <li>・保健体育の見方・考え方ははたらかせて深い学びにつながるようになっている。</li> <li>・「WEB」や「AR」などデジタルコンテンツが充実しているが、現時点では活用しづらい。</li> <li>・写真・資料と本文のバランスから見ると、文章の部分がやや少ない感じがする。</li> <li>・重要な語句（キーワード）のまとめが、開きの最後に提示されている。できれば、導入部の探求意欲のきっかけづくりとして、開きの左上配置がいいと考える。</li> <li>・章末に学習した内容を振り返る（まとめ）問題が「WEB」上にあり、手軽に取り組みにくい。</li> </ul>
<p>(5) 印刷・製本等</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・写真・資料の配置、文字サイズなど丁度良い。</li> <li>・レイアウトもよく考えられコンパクトにまとめられており、ページ数が少なくなっている。</li> <li>・左ページに本文、右ページに資料と、レイアウトがわかりやすい。</li> <li>・色鮮やかで色使いも適切で目を引くデザインになっている。</li> <li>・口絵の写真が鮮明で、生徒の興味や関心を奮起する内容になっている。</li> <li>・多彩な色合いで構成されていて、見やすい。</li> <li>・色合いが全体的に落ち着いた。</li> <li>・文字間が狭く、漢字が多く使われているため、目で見ると理解するには配慮が足りない。</li> <li>・写真や資料等の色使いが、馴染めない。コントラストがきつい感じがする。</li> <li>・本文と資料が見開きページで完全に分かれ整理されているが授業を進めていく流れの中では参照にしにくい。</li> <li>・余白が多いページがある。</li> </ul>
<p>2 選 定 の 観 点</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校種間、教科間、家庭・地域との連携が図りやすく工夫しており、系統性のある指導ができる内容になっている。</li> <li>・1単位時間の授業の流れや保健体育の学び方に関する記述やイラストがわかりやすい。</li> <li>・オリンピック、パラリンピックの内容に関する記述や写真がわかりやすく、系統立てて理解することができる。</li> <li>・自然災害について、わかりやすく、丁寧に説明しており、実践に役立つ資料となっている。</li> <li>・（市民）性の多様性について、P38 「個性や能力を大切にする」側中記載がある。</li> <li>・感染症についての内容が少なく、感染経路についての記述がない。</li> <li>・SDGsに関する記述がない。</li> </ul>

発行者名		大 修 館 書 店
観 点		
1 各 教 科 共 通 の 選 定 の 観 点	(1) 内容の範囲及び程度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・内容の範囲は適切である。</li> <li>・本文と資料の割合・バランスが悪い。資料が多すぎる。</li> </ul>
	(2) 内容に関する配慮事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「章のまとめ」の問題では「知識・技能の確認問題」や「思考・判断・表現の問題」と表記しており、観点別評価を考慮した構成になっている。</li> <li>・コラムや事例などで時代の流れにあった内容を採用している。</li> <li>・クローズアップ「学びを広げよう、深めよう」は、道徳等と関連付ける内容になっている。</li> <li>・資料の中に吹き出しでコメントを入れたり、思考のヒントとなる記載があったりして、どのように考えたらいいかが分かりやすい。</li> <li>・分野と体育分野を学年ごとに分類してあってわかりやすい。</li> <li>・生徒が学習内容を確実に身につけることができるように、学習のまとめとして章末問題が十分に確保され、観点別でわかりやすくなっている。</li> <li>・重要な語句（キーワード）のまとめが、開きの右上に提示されている。できれば、導入部の探求意欲のきっかけづくりとして、開きの左上配置がいいと考える。</li> </ul>
	(3) 分量	<ul style="list-style-type: none"> <li>・分量は、適切である。</li> <li>・資料が比較的新しいものが多く、わかりやすい。</li> <li>・単元によって、本文が少ないように感じたが、資料をふんだんに盛り込み、資料から読み取ることができるようになっている。</li> </ul>
	(4) 使用上の便宜	<ul style="list-style-type: none"> <li>・イラストや写真、資料が多く取り入れられており、見やすく、授業を進めていく流れに沿って使いやすい。</li> <li>・章のまとめ資料がわかりやすく、学んだことを振り返る内容になっている。</li> <li>・「課題をつかむ」「きょうの学習」「学習のまとめ」が同じ場所に配置されていて、見やすく扱いやすい。</li> <li>・章末問題等が別にあるため、見開き2ページを1単位時間で完結する構成内に、記述できる課題はワークなどを併用するため不要と感じる。ワークを使用しない場合は、有効である。</li> <li>・資料によっては、使い方の方向性に制限がかかる物があり、説明が行いにくい。</li> <li>・学習の流れである「課題をつかむ」⇒「まとめ」の間に、主体的な思考・判断・表現に結びつくような、調べたり活用したりといった柱が欲しい。</li> <li>・強調されている言葉が行をまたぐことが多く見受けられ、見にくい箇所がある。</li> <li>・見出しの言葉がわかりにくい。 (生殖にかかわる働きの成熟、欲求とその充足など)</li> <li>・文字が少なく、写真が多く、内容を理解するのに、説明が不足している部分がある。</li> </ul>

	(5) 印刷・製本等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・写真やイラストなど光沢が抑えられ目に優しい工夫がされている。</li> <li>・口絵の写真が鮮明で、生徒の興味関心を奮起する内容になっている。</li> <li>・資料や図、表、イラストがカラフルで見やすい。色合いも落ち着いている。</li> <li>・イラストが多く、生徒の興味をひく内容になっている。</li> <li>・(学校) UDフォントを使用しており、本文の文字の大きさが、適切である。</li> <li>・本文と資料・写真等の配置が、単元によって違うところがあるため、配置は、そろえた方が良い。</li> <li>・食物を提示する部分は、イラストよりも、出来る限り写真の方が伝わりやすい。</li> <li>・本文中の太文字はわかりやすいが、見出しの書体が印象に残りにくい。</li> </ul>
2 選 定 の 観 点		<ul style="list-style-type: none"> <li>・日常生活における体育・健康に関する活動が適切かつ継続的に実践することができる内容になっている。</li> <li>・感染症について、説明がわかりやすく、喫緊の課題であるマスクについてのコラムなどの記述もあり、授業で活用しやすくなっている。</li> <li>・「がんとその予防について」の記述が充実している。</li> <li>・ストレスへの対処の技能に関する内容が充実している。</li> <li>・章のはじめに小学校・中学校・高校で学習することが明記されており、系統性のある指導ができる内容になっている。</li> <li>・応急手当の技能に関する内容が、写真と絵を効果的に示されており、具体的で指導しやすい内容になっている。</li> <li>・SDGsに関する取扱いが充実している。</li> <li>・(学校) 体育理論の資料やイラストがわかりやすく、内容が充実している。</li> <li>・心肺蘇生法の流れがわかりにくい。</li> <li>・免疫のしくみについてのイラストがわかりにくい。</li> <li>・災害と環境についての内容が少ない。</li> <li>・高等学校への移行について、考慮が少ない印象があった。</li> <li>・(市民) 性の多様性についての取扱いが、特に見られない。</li> </ul>

発行者名		学 研 教 育 み ら い
観 点		
1 各 教 科 共 通 の 選 定 の 観 点	(1) 内容の範囲及び程度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・内容の範囲は適切である。</li> <li>・ストレスへの対処法については、多様化するストレスに、幅広く対処する提示が工夫されている。</li> <li>・性情報などへの対処では、より具体的な SNS 上のトラブルや危険度を明示してほしい。</li> </ul>
	(2) 内容に関する配慮事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「課題をつかむ」⇒「考える・調べる」⇒「まとめる・深める」といった一連の学習の流れが明確で、主体的に、思考・判断し、適切に振り返ることができる仕組みが良い。</li> <li>・「もっと広げる・深める」、「探求しようよ」が丁寧で豊富な内容になっている。</li> <li>・イラストや資料、図・表が大きくなり、見やすくなっている。</li> <li>・それぞれの単元で「主体的・対話的で深い学び」を促すように紙面構成に配慮されている。</li> <li>・（学校）「章のまとめ」では観点別による自己評価と問題、課題などで構成されているが、1 ページにまとめられており利用しやすい。</li> <li>・（学校）文字のフォントが大きくなり、見やすくなっている。</li> <li>・（学校）章末問題が少ない。</li> </ul>
	(3) 分量	<ul style="list-style-type: none"> <li>・分量は、適切である。</li> <li>・やや分量が多いが、内容が充実している。</li> <li>・概ね適切な分量である。（単元によっては多いと感じるところもある。）</li> <li>・「もっと広げる・深める」、「探求しようよ」が丁寧で豊富な内容になっているが授業の中ですべてを取り扱うには分量が多い感じがする。</li> </ul>
	(4) 使用上の便宜	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本文に関連して提示している資料や写真が、現在の社会生活の中で、より身近にあるものが多く使われていて良い。</li> <li>・見開きで1 単位時間の授業の流れを考えた構成が、使用しやすい。</li> <li>・イラストや資料などが豊富で、生徒の興味や関心を引き付けやすい。</li> <li>・イラストや図表・グラフ等は学習を進める上で、関連をもたせるように配置され、活用しやすくなっている。</li> <li>・身近な事例が多く取り上げられており、興味をひく内容になっている。</li> <li>・（学校）インターネットやデジタル教材にアクセスできるようになっているが、使い勝手が悪い。</li> </ul>

	(5) 印刷・製本等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文字サイズや写真などの配置や色合いが落ち着いていて、見やすさが丁度よい。</li> <li>・文字などで強調される部分の太字や指示マーク等が明確でよい。</li> <li>・ページの幅が広がっており文字が大きく文字間も空いているため見やすい。</li> <li>・落ち着いた色合いで見やすく、注目させたい内容がしっかりと目に留まる色遣いになっている。</li> <li>・イラストや資料等が多く、生徒の興味関心を促す内容になっている。</li> <li>・ページ数が多く、重量感がある。</li> <li>・口絵の写真のインパクトがない。</li> <li>・(学校)表紙、裏表紙が、保健体育と結び付きにくい印象である。</li> </ul>
2 選 定 の 観 点		<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習内容をキーワードごとに再整理して教科等横断的な関連をし、カリキュラムマネジメントにつながる工夫がしてある。</li> <li>・「探求しようよ」の活用で、授業内容が深化・発展できるようになっている。</li> <li>・オリンピック、パラリンピックの内容に関する資料がまとめられており、わかりやすい。</li> <li>・「最前線を知る」で最新の情報や、大切なポイントがわかる。</li> <li>・章のはじめに小学校・中学校・高校で学習することが明記されており、系統性のある指導ができる内容になっている。</li> <li>・他社と比較して、SDGsに関する取扱いが特に充実している。</li> <li>・感染症についての内容をもう少し掘り下げてほしい。</li> <li>・(市民)性の多様性について、P43 LGBTの言葉の解説が脚注記載。用語のおさえのみで完結している。</li> </ul>